



青 於

5月号



不審者からの避難訓練 (5/2)



今から16年前に、大阪の池田小に、包丁を持った男が侵入し、子どもや先生を追いかけて回して命を奪った事件がありました。そのときに、8人の児童が亡くなり、15人の児童と先生が大けがをしました。その事件があったことで、不審者から身を守る訓練がどの学校でも行われるようになりました。

スクールサポーターの平野さんから、不審者に遭遇したときの対処の仕方などを学びました。登下校中に不審者に遭遇したら、どの場所にいるとき・どこに(110の家、店、駐在所など)逃げるかなど、予め考えておくことが大切です。

合い言葉は、いかのおすし
 「いか」・・・ついていかない
 「の」・・・くるまにのらない
 「お」・・・おおごえを出す
 「す」・・・すぐにげる
 「し」・・・しらせる



学校探検 (5/2)

1・2年生が、生活科の学習で、「がっこうたんけん」を行いました。職員室で担任の先生の机を見つけたり、保健室でカットバンをもらったりしながら、22か所の学校の施設を回りました。

後日、1年生だけで校長室に探検に来てくれました。自分の家の場所を地図で探したり、ガラスケースの中にあるトロフィーやカップの数を数えました。

科学教育センター学習 (5/11)



5年生が科学教育センター利用学習に行きました。各学年とも、年間2回センター利用学習を行います。今回は、顕微鏡を使って微生物の観察を行い、ミカヅキモやミドリムシなどを見つけました。また、等速直線運動の学習を行ったり、風速20mの風体験をしたりしました。

朝会の話(5/15)「はきものをそろえる」

この詩は、長野県篠ノ井町にある円福寺の藤本幸邦（こうほう）和尚が作られたものですが、永平寺の開祖である道元禅師の「脚下照顧（きやくかしょうこ）＝足もとをよく見なさい」という教えを、分かりやすく表現したものです。

心にゆとりがないと、履物はそろえられません。「履物をそろえる」ということは「自分の心をそろえる」ということです。また、他の人の履物を黙ってそろえられるようになれば、自分の履物が乱れるような人にはなりません。玄関の履物がきちんとそろえてあるのを見ただけで心が癒されます。学校でも、自分のものだけでなく、友だちがそろえるのを忘れていたら、上履きなどの向きを変えて、履物をそろえられる人になりましょう。それが、自分やまわりの人の心をそろえることにつながります。

履物をそろえるというだけの行為ですが、とてもすばらしいことだと思います。

「はきものをそろえる」
 はきものをそろえる
 心がそろって
 はきものもそろって
 ぬぐとくに
 そろえておくと
 はぐとくに
 心がみだれない
 だれかが
 みだしておいたら
 だまっておいて
 そろえておいて
 あげよう
 そろすれば
 世界中の人の
 心も
 そろってしょう



3年社会科見学 (5/12)

3年生の社会科見学で、学校周辺の散策を行いました。学校の東側には田んぼが多く、学校の北側や西側には畑が多いことなどが分かりました。国道121号線沿いには、民家がたくさんあることや車の往来が激しいことなども分かりました。



AETとの外国語活動 (5/12)

4・5・6年生がAETのアイバン・リー先生と外国語活動を行いました。リー先生は、昨年度から大内西小に来ているので、子どもたちとも顔なじみになっており、楽しく活動ができています。今年は、原則金曜日に5・6年生を中心に活動します。今回は、6年生が「アルファベットの小文字」、5年生が「ジェスチャーをしながらあいさつ」4年生が「曜日や歌を歌ながら体の部位」などの勉強をしました。

